

国 語

科 目 名	単 位 数	学 年	学 科
文学国語	2単位	3年（選択）	普通科

教 科 書	新編文学国語（大修館書店）	副 教 材	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）
-------	---------------	-------	------------------

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	- 心を見つめる - 小説を楽しむ (二) - 古典の世界 4	- 言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 - 情景の豊かさや心情の機微を表わす語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	「書くこと」について、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 「読むこと」について、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「読むこと」について、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。
2 学期	- 文化を感じる - 短歌・俳句に親しむ - 小説を味わう - 古典の世界 5		
3 学期	- 名作を読む (二) - 文学を生み出す		
1 実社会に必要な言葉の知識や技能を身に付けるためにもたくさんの種類の本を読もう。 2 文章の内容を的確に捉え、それに関する自分の考えを深めよう。 3 自分の意見を他者に理解してもらえよう、表現の仕方を学ぼう。			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。
②	思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
定期 考 査	1 学期中間・期末 2 学期中間・期末 学年末（計5回）	
評 価 方 法	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（定期考査、ファイル） ②思考・判断・表現（定期考査、レポート、課題、意見発表） ③主体的に学習に取り組む態度 （授業中の発言、レポートや意見発表の自己評価・相互評価）	

